

平素より協会活動へのご理解誠に感謝申し上げます。

入梅を控え不安定な空模様が続く今日この頃、日本そして世界に目を向けましても、今の天気のように不安定で悲しい雨が続いているように感じます。

このように雨は「うっとうしい物」と度々表現されますが、みなさんご存知の通り、雨が無くては、木々は芽吹かず、食物は実りません。喉の渇きを潤すダムに水を貯め、暑い日照りにいっときの涼を与えてくれます。

ひとつの物の中にも見方、捉え方を変えれば、なんと素晴らしい物なんだと再確認することが多々あります。物事を決めつけるのではなく、柔軟にいろいろな角度から捉えることがいかに大事か。

協会のなかでも、思うような活動ができず、今の世の中を「わずらわしい雨」と捉えている時期がございましたが、考え方を改めて、「今だからこそ出来ること」と新たな事業や試みに挑戦してまいりました。色々な雨が降る世の中ではございますが、少しでも「恵みの雨」となる様に捉え、色々な果実を実らせることの出来る、そんな協会(人間)でありたい思っております。

北茨城市国際交流協会  
会長 荒木原野

2021年度の  
主な  
活動報告



### ①PR動画「ヒストリー編」公開

以前から制作をお知らせしていたPR動画が完成しました。今回は第一弾「ヒストリー編」。キックスがなぜ生まれたのか？どのようにしてワイロアとの交流が始まったのか？設立に携わった3名のスタッフによる雑談形式の動画となっています。撮影は思い出話やエピソードを交えて、終始和やかな時間となりました。

現在、キックスのYouTubeチャンネルにて閲覧可能です。ぜひご覧ください。

そして第二弾もお楽しみに！



Check!



## ②クレアwebセミナー

自治体国際化協会（クレア）主催の3回にわたるセミナーに参加しました。各会のテーマに沿った内容とともに、大使館担当者からNZでのコロナ状況と今後の見通しについて情報提供がありました。コロナ情勢の「今」をうかがえる貴重な機会となりました。交流事業再開にむけて非常に希望を持てる情報となりました。

## ③NZワイロアと近況報告会

ワイロアの人達とZoomを用いてリアルタイムでコロナ禍におけるお互いの現状などをお話することができました。

Zoomを使うと今まで以上にワイロアが近くに感じ、1日でも早くface to faceの交流がしたい、会いたいと感じました。



## 昨年は様々な団体と 交流、意見交換をしました



## ④箕面市ハット市友好クラブと交流

箕面市ハット市友好クラブは、1995年に大阪府箕面市とNZハット市とで国際協力都市提携を結んだ際に発足しました。KICS同様、民間主体の団体ということで似た境遇にあります。

両団体とも、これまでの対面型の活動を縮小・限定せざるを得ない今だからこそ、「アフターコロナ」をイメージして、今回のような交流・情報交換を国内外の皆さんと積極的に取っていきましょう、との話になりました。

2022年度も交流継続する予定です。



## ウクライナ支援

北茨城市ではウクライナからの避難を余儀なくされた方々に対し、人道支援をおこなうことを発表しました。当協会にはコミュニケーション支援として、避難民の方と市民との交流機会を設ける等の協力を求められました。

当協会としても趣旨に賛同するとともに、国籍問わず、市内でお困りの外国人の方々の手助けをしていきたいと考えています。関係会員の皆さんにおきましてもご協力の程よろしくお願いします。



## 訃報

去る5月5日、ニュージーランド国ワイロア地区において、Adrian Trevor Galvan（トレバー・ギャルバン）氏が享年72歳にて永眠されましたこと、お知らせいたします。

故人は、1995年のKICS設立当時から、約30年間に渡り北茨城市とワイロア市との市民・文化交流に尽力され、両市の友好親善に多大な功績を残されました。本協会として、故人との出会い・交流に心より感謝しますとともに、謹んで哀悼の意を表します。

編集  
後記

来年度はKICS設立30周年を迎えます。約30年前にトレバー先生が架け橋となって動き出したKICS。世情に負けず、この先も長く長く交流を続けていきたいと改めて決意しました。そして今年こそは市内の皆さんとの事業も復活できますように。楽しみに待っていてください。  
ホームページ：<https://www.kicsteam.com>